

世界アーティストサミット 連携イベント Diversity KYOTO — 多様性が創造する未来

日時: 2005年9月30日(金) 6:00pm - 8:30pm 場所: 京都造形芸術大学 芝生広場

アート、デザイン、スポーツ、俳句、脳科学という異なる分野で、新たな創造領域を開拓している4名のパネリストを迎え、現在携わっている活動やそのベースとなる考えをお話いただいた後、ディスカッションを行います。

モデレーター: 梶井 TSUBAKI Noboru (参加アーティスト、京都造形芸術大学教授)



タナカノリユキ TANAKA Noriyuki

[クリエイティブディレクター、アートディレクター、映像ディレクター]
1985年東京芸術大学大学院美術研究科修了。グラフィック、空間造形、映像、パフォーマンス、環境デザインなど、様々なビジュアル表現を駆使し、展覧会、ミュージック・ビデオ、CMディレクション、広告、CI、商品開発、文化関連事業などを行う。主な著書に「タナカノリユキの仕事と周辺」(六耀社)など。



麻まどか MAYUZUMI Madoka

[俳人]
神奈川県生まれ。1994年「B面の夏」50句で第40回角川俳句賞奨励賞受賞。俳句結社「月刊ヘッパーン」代表。1999年北スペイン・サンチャゴ巡礼道900kmを踏破したの続き、2001年8月〜2002年10月韓国釜山からソウルを徒歩で踏破。2002年5月、句集「京都の恋」で第2回山本健吉文学賞受賞。最新刊「17音の交響曲」(東京書籍)。



茂木健一郎 MOGI Kenichiro

[脳科学者]
1962年東京都生まれ。東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー、東京工業大学大学院客員助教授(脳科学、認知科学)。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。主な著書に「脳とクオリア」(日経サイエンス社)など。



山下泰裕 YAMASHITA Yasuhiro

[柔道家、東海大学教授]
1958年熊本県生まれ。1977年から9年連続で全日本選手権優勝。1984年ロサンゼルスオリンピックにて無差別級優勝。同年、国民栄誉賞受賞。2003年国際柔道連盟教育コーチング理事を経て、現職。主な著書に「武士道とともに生きる」(奥田経団連会長共著、角川書店)など。

お申し込み方法

| | |
|--|--|
| 連携プログラム | ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、「連携プログラム参加希望」と明記の上、お名前、ご住所、連絡先(TEL、FAX、メール)、所属・学校名をご記入いただき、メール、またはFAXを送ってください。(お電話でのお申込は受付しておりません) |
| コアミーティング | ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、参加申込フォームをプリントアウトし、必要事項を明記したものをFAXで送ってください。(要レポート提出)世界アーティストサミットでは、トップアーティストが世界規模の問題に対する解決策を考えます。聴講を希望する大学生の皆さんには、次の課題に対するレポートを提出して頂きます。課題:「自分の身の回りにある身近な問題に目を向け、どういった問題かを説明し、その解決策を提案する」 |
| 公開シンポジウム | ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、「公開シンポジウム参加希望」と明記の上、お名前、ご住所、連絡先(TEL、FAX、メール)、所属・学校名をご記入いただき、メール、またはFAXを送ってください。(お電話でのお申込は受付しておりません) |
| 公式ウェブサイト: http://artists-summit.jp FAX: 075-791-9181 E-mail: artists_summit@kuad.kyoto-art.ac.jp | |

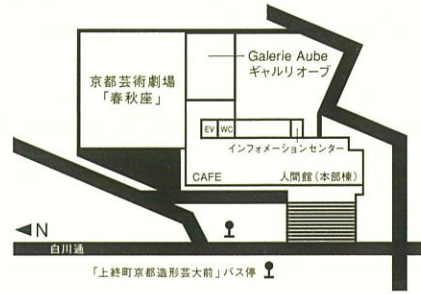
アクセス

市バス5系統「上終町京都造形芸術大学前」下車すぐ
叡山電鉄叡山線「茶山駅」より徒歩10分
駐車場・駐輪場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

校外



校内



お問い合わせ

▲ 京都造形芸術大学
国際芸術研究センター
世界アーティストサミット事務局
担当: 杉浦幸子、岸本直子、佐藤朋美
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
Phone: 075-791-9132 Fax: 075-791-9181
E-mail: artists_summit@kuad.kyoto-art.ac.jp
お問い合わせは、お電話、ファックス、メールのいずれかの方法で受け付けます。必ずお名前、連絡先を明記してください。
※ 平日 9:00~17:30 / 土・日・祝日はお休みです。

協賛: A FACTORY inc. OMRON nasic KYOCERA 京都銀行 京都信用金庫 京都ゼロックス株式会社 株式会社 きんでん
KONOIKE JTB SHI/EIDO TOYOTA HORIBA mualtec 村田機械 UFJ銀行 ワコホール
協力: arflex 一善丁 伊藤園 京都ホテルオークラ ANA TAKARA

世界アーティストサミット

ARTISTS SUMMIT, KYOTO

MASUDA MANAM
SENJU HIROSH
TSUBAKI NOBORU
UNIVERSITY STUDENT
HIGH SCHOOL STUDENT
MIYAMOTO AMOI
YAMASHITA YASUHIRO
THOMAS STRUTTI
TOMIMOTO AKIN
SASAHARA YUKI
JANE ALEXANDEI
KONDO S
CAIGUO QIAN
NOVEMBER
MORIMURA YASUMASA
TANAKA NORIYUK
MAYUZUMI MADOKA
MIYAJIMA TATSUO
IDEI NOBUYUK
FUKUCHI SHIGEO ANN HAMILTON
LEE UFAN KCHO MOGIKENICHIRO GILBERTO ZORIO

人類の危機に解決策を示す2日間
2 DAYS FOR PRESENTING THE SOLUTIONS TO
THE CRISES OF HUMAN BEINGS. <http://artists-summit.kyoto-art.ac.jp>

主催: 京都造形芸術大学、京都市、京都府、京都商工会議所、日本経済新聞社 / 後援: 文化庁、経済産業省近畿経済産業局、国際交流基金、京都府教育委員、京都市教育委員会、財団法人大学コンソーシアム京都、関西経済連合会、京都経済同友会、京都新聞社、株式会社エフエム京都、京都文藝復興倶楽部 / 特別協力: 東北芸術工科大
協賛: 株式会社ア・ファクトリー、オムロン株式会社、株式会社学生情報センター、京セラ株式会社、京都銀行、京都信用金庫、京都ゼロックス株式会社、京都中央信用金庫、株式会社きんでん、株式会社清海館、株式会社ジ・エー・ピー、株式会社資生堂、トヨタ自動車株式会社、和歌山建設株式会社、株式会社興隆製作所、村田機械株式会社、UFJ銀行、株式会社ワコホール / 協力: 株式会社アルフレックスジャパン、有限会社一善丁、株式会社伊藤園、有限会社北村テック、京都ホテルオークラ、全日本空輸株式会社、京都造形芸術大学、株式会社タカラ

創造力が世界を変える 企画者からのメッセージ

世界ではテロによる殺戮が繰り返され、紛争は終わらず、飢えた子どもたちが巷に溢れ、環境破壊によって地球は悲鳴をあげています。人心は荒廃し、「命」は軽視され、その影響は子ども達の精神にまで及んでいます。私たちは、こうした絶望的危機を政治、軍事、経済、科学レベルで解決しようとしてきましたが、いまだ解決はできていません。今、世界は失望と無力感、シニシズムと享楽主義に満ちています。はたして、私たち人類に未来と希望はあるのでしょうか。この絶望的な世界を希望のある未来へ変えるために、世界をリードするトップアーティスト8名が京都に集結し、アーティストの創造力から生まれた世界を変革する具体的アイデアを議論し、提案します。これが「世界アーティストサミット」です。アートには人々の心に感動を与え、想いを共有させる力があります。それは国境を越え、人種を超え、人間同士を結びつける力、「創造力」です。そして、その力を持つ8名のアーティストたちは、現在の絶望的な状況をブレイクスルー（突破）するアイデアを必ず提供してくれるでしょう。「平和な世界」の実現を願う「世界アーティストサミット」には、既成概念に囚われない自由がある。だからこそ「奇想天外なアイデア」に富むでしょう。今、絶望的な無力感に囚われている私たちに必要なのは、驚嘆するアイデアであり、大いなるユーモアであり、また詩的ビジョンであり、感動する心だと思います。未来の人々の心を揺さぶり、感動と希望を感じてもらうために、この会議は開かれます。

「世界アーティストサミット」企画者、京都造形芸術大学国際芸術研究センター教授 宮島達男



| | | | |
|-----------------|--|-----------------|--|
| コアミーティング | 世界のトップアーティストたちが、人口、環境、平和、教育といった世界の諸問題に対する解決策を示し、討議します。 | 公開シンポジウム | コアミーティングにおける議論を受け、大学生や高校生、また様々な分野の第一線で活躍する人々が、芸術の果たす社会的役割や可能性、また芸術をどのように社会が活かしていくかについて討議します。 |
|-----------------|--|-----------------|--|

日時：2005年11月19日(土) 10:00am - 6:30pm、11月20日(日) 10:00am - 11:30am **場所：京都造形芸術大学 ギャラリー・オーブ**
聴講費：無料 **通訳：逐次通訳(英・伊・西)** **聴講者定員：50名(大学生限定・通信教育部学生含む)** ※要事前申込、レポート提出
 テーマに関心の高い意欲のある方に聴講していただくため、参加にあたってはレポート提出が必要です。レポートの内容から参加の可否を決定します。なお、聴講者の内2名に、公開シンポジウム第2部にパネリストとして出演いただきます。※出演者2名には、往復交通費、19日の宿泊費(遠方の場合)を支給します。

| タイムテーブル | |
|-----------------------|------------------------|
| 2005年11月19日(土) | |
| 10:00am - 10:10am | 開会の挨拶：芳賀徹(京都造形芸術大学 学長) |
| 10:10am - 10:15am | プログラム概要説明：宮島達男 |
| 10:15am - 12:15pm | コアミーティング【ユニット1】 |
| 12:15pm - 2:30pm | 休憩 |
| 2:30pm - 4:30pm | コアミーティング【ユニット2】 |
| 4:30pm - 5:00pm | 休憩 |
| 5:00pm - 6:30pm | コアミーティング【ユニット3】 |
| 2005年11月20日(日) | |
| 10:00pm - 11:30pm | コアミーティング【ユニット4】 |

日時：2005年11月20日(日) 1:00pm - 6:45pm **場所：京都芸術劇場「春秋座」**
定員：800名(高校生、大学生および一般) ※要事前申込、先着順
参加費：無料 **通訳：逐次通訳(英・伊・西)**
 その他：託児サービスあり ※要事前申込

| タイムテーブル | |
|-----------------------|---|
| 2005年11月20日(日) | |
| 1:00pm - 1:10pm | 主催者挨拶：榊本頼兼(京都市長)、関山豊成(日本経済新聞社 専務取締役 大阪本社代表) |
| 1:10pm - 1:40pm | 基調講演：「21世紀はアートの時代」 千住博(日本画家、京都造形芸術大学副学長) |
| 1:40pm - 3:10pm | 第1部：ジュニア・アーティストサミット 高校生という次世代を担う若者たちが、アートを通してどのように社会と向き合い、発信しているか、また地球の未来をどう考えているかを実例を示しながら論じます。 「全国高等学校デザイン選手権大会」優秀校プレゼンテーション(3校) パネルディスカッション：デザイン選手権優秀校代表、一般高校生 モデレーター：榊昇(参加アーティスト、京都造形芸術大学教授) |
| 3:10pm - 3:20pm | 休憩 |
| 3:20pm - 4:40pm | 第2部：Voices from the Artists - アーティストからの提案 コアミーティングの結果を報告し、来るべき世界において、芸術、アーティストがどのような役割を担い、関わっていくかを示します。 パネリスト：宮島達男、参加アーティスト、聴講者代表(大学生) |
| 4:40pm - 4:50pm | 休憩 |
| 4:50pm - 6:40pm | 第3部：パネルディスカッション - 芸術の力は世界を変える 芸術の力を企業、行政、社会がどのようにとらえ、活用するか、また国際貢献のあり方や芸術立国の可能性にも視野を広げ討議します。 パネリスト：出井伸之、近藤誠一、福地茂雄、宮本亜門、千住博 モデレーター：山脇晴子(日本経済新聞社文化事業局文化事業部長) |
| 6:40pm - 6:45pm | 閉会の挨拶：徳山詳直(京都造形芸術大学理事長) |

参加アーティスト略歴

ジェーン・アレキサンダー Jane ALEXANDER [南アフリカ]
 1988年、ヨハネスブルク・ウィットウォーターズランド大学美術学修士課程修了。これまでアフリカ、ヨーロッパ、日本、キューバ、アメリカで展覧会を開催。作品は主に彫刻と写真で構成され、彫刻した作品をフォトモンタージュによって写真と組み合わせることもある。1986年「ブッチャー・ボイズ」など、等身大の人物彫刻で知られる。ケープタウン大学ミカエリス美術学校助教授。

蔡国強 CAI Guo Qiang [中国]
 1957年中国生まれ。1981年から1985年まで上海演劇大学で学び、当初は火薬を用いたプロジェクトから製作を始める1986年から1995年にかけて日本に滞在、その間にドローイングを通じて火薬の特性を探求。爆発プロジェクトは鑑賞者と周囲の世界の関係性構築を目指したものである。Portrait of Cai by Timothy Greenfield-Sanders

アン・ハミルトン Ann HAMILTON [アメリカ]
 1956年オハイオ州リマ生まれ。1979年、テキスタイル・デザインでカンザス大学の美術学修士号。1985年には彫刻でエル大学美術学大学院の修士号を取得。大型のインスタレーションで知られる。多数の受賞歴があり、1993年にはマッカーサー奨学金を受け、1999年にはヴェネチア・ビエンナーレのアメリカ代表に選出された。2001年よりオハイオ州立大学美術学部で教鞭をとる。

カチョー KCHO [キューバ]
 1970年、キューバの南にある小島・フベントウ島で生まれる。1986年にハバナに転住し、国立美術学校に入学、1990年に同校卒業。島とそのシンボルをテーマに作品を作り続け、そのアイデアを練るため海、漁師の家で多くの時間を費やす。1995年に光州ビエンナーレ(韓国)で大賞を受賞。同年パリにてユネスコ芸術奨励賞を受賞。

李禹煥 LEE Ufan [韓国]
 1936年韓国生まれ。1956年ソウル大学中退、来日。1961年日本大学文学部卒業。1970年前後、美術表現に物質や空間など外部性をもたらすモノ派運動を唱導し注目される。1971年パリ・ビエンナーレ、1977年ドクメンタ他、多くの国際展に参加。ジュド・ボーム、Kunstmuseum Bonn、横浜美術館などで個展。2001年13回世界文化賞受賞。著書「出会いを求めて」(美術出版)、「余白の芸術」(みすず書房)他。多摩美術大学教授。

トーマス・シュトゥルツ Thomas STRUTH [ドイツ]
 1954年ドイツ生まれ。1973年から1980年までデュッセルドルフ美術アカデミーでゲルハルト・リヒターとベルント・ベヒャーに師事。絵画からスタートし1976年に写真に転向した。1993年から1996年まで国立カールスルーエ造形大学写真学教授。1997年、「スペクトラム」写真賞を受賞。主なプロジェクトに「街路」、「肖像」、「美術館」、「パラダイス」などのシリーズがある。写真提供：Studio Thomas Struth

榊昇 TSUBAKI Noboru [日本]
 1953年生まれ。1989年「アゲインスト・ネーチャー展」、1993年ヴェネチア・ビエンナーレのアベルト部門出品。2001年の横浜トリエンナーレでは情報哲学者の室井尚と組んで「飛蝗」を発表した。2003年水戸芸術館で個人とシステムの関係を問う「国連少年展」を開催。バングラデシュやパレスチナなどで持続可能な成長を志向する「ラジカルダイアログ」を展開中。2005年4月より本学教授。地球環境センター客員研究員。

ジルベルト・ゾリオ Gilberto ZORIO [イタリア]
 1944年イタリア生まれ。トリノ在住。1960年代にグループで活動した「アルテ・ポヴェラ(貧しい芸術)」の一員。環境に応じて変化する科学的な素材を用いて、時間のなげや、ものの中に潜むエネルギーを形にする。イタリア国内のみならず、世界各地で展覧会を開催。2005年豊田市美術館「アルテ・ポヴェラ展」に参加。

宮島達男 MIYAJIMA Tatsuo [日本]
 1957年生まれ。1984年東京芸術大学美術学部油絵科卒業。1986年同大学院美術研究科絵画専攻修了。1988年、ヴェネチア・ビエンナーレのアベルト部門に招待され、国際的に注目を集める。以来、国内外で数多くの展覧会を開催。1996年から長崎で原爆を被爆した柿の木の種類から育てた苗木を世界各国で現地の子ども達とともに植樹していく「柿の蘇生」柿の木プロジェクトを推進している。2003年8月より本学教授。写真提供：TGA

千住博 SENJU Hiroshi [日本画家、京都造形芸術大学副学長]
 1958年東京都生まれ。東京芸術大学美術学部日本画科卒。同大学院博士課程修了。2004年4月本学副学長就任。1993年東洋人として初めて米国の美術誌「ギャラリーガイド」の表紙を飾る。1995年ヴェネチア・ビエンナーレ絵画部門優秀賞を東洋人として初受賞。1998年より伊東市に建立された京都大徳寺聚光院別院の模写を手がける。代表作に「フラットウォーター」シリーズ、「ウォーターフォール(滝)」シリーズなど。

パネリスト略歴

出井伸之 IDEI Nobuyuki [ソニー株式会社最高顧問]
 1937年東京都生まれ。1960年ソニー株式会社に入社。1995年4月代表取締役社長に就任。会長兼CEO、取締役代表執行役会長兼グループCEOを経て、2005年6月より最高顧問、アドバイザリーボード議長。また、2001年4月よりネスレS.A.(スイス) 取締役。2003年5月より日本経済団体連合会副会長。

近藤誠一 KONDO Seiichi [外務省国際貿易・経済担当大使]
 1946年生まれ。1971年東京大学教養学部卒業、1972年外務省入省。オックスフォード大学留学。北東アジア課首席事務官、国際報道課長、在フィリピン大使館参事官、在米国大使館公使経済局審議官(G8サミット担当)、OECD(経済協力開発機構)事務次官、広報文化交遊部長を経て、2005年8月より現職。著書「米國報道にみる日本」「重められる日本イメージ」「パピマルメンソンの森〜外交と文化に関する24のエッセイ」など。

福地茂雄 FUKUCHI Shigeo [アサヒビール株式会社代表取締役会長]
 1934年生まれ。1957年3月長崎大学経済学部卒業、4月アサヒビール株式会社入社。1981年9月京都支店長、1984年8月営業部長、1988年3月取締役大阪支店長、1993年3月専務取締役営業本部副本部長、1999年1月代表取締役社長を経て2002年1月より現職。

宮本亜門 MIYAMOTO Amon [演出家]
 出演者、振付家を経て、1987年にミュージカル「アイ・ガット・マーマン」で演出家としてデビュー。翌年同作品で「文化庁芸術祭賞」を受賞。1998年沖縄を舞台にした初映画監督作品「BEAT」でヴェネチア映画祭に正式出品され、沖縄に転住する。2004年秋には、ニューヨークのオンブロードウェイにて「太平洋序曲」を東洋人初の演出として手がけ、2005年トニー賞4部門でノミネートされる。ミュージカルのみならず、ストレートプレイやオペラ、絵本プロデュースなど、ジャンルを超えた活動を展開中。2005年12月より、大阪にて「メアリー・ステュアート」を公演予定。